



Silk Test 21.0.2

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

© Copyright 1992-2022 Micro Focus またはその関連会社。

MICRO FOCUS、Micro Focus のロゴおよび Silk Test は、Micro Focus またはその関連会社の
商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2023-05-30

目次

Silk Test 21.0.2 リリース ノート	4
Silk Test 製品スイート	5
システム要件および前提条件	7
ハードウェア要件	7
ソフトウェア要件	7
Silk Test の新機能	8
HTML 形式の結果レポートにおけるイメージ検証	8
ブラウザ サポートの自動更新	8
スタンドアロン Recorder	8
AutoPass のサポート	8
ユーザビリティの改善	8
使用技術の更新	9
既知の問題	10
解決済みの問題（機能拡張要求を含む）	11
Micro Focus へのお問い合わせ	13
Micro Focus カスタマー ケア が必要とする情報	13
Silk Test のライセンス	14
ライセンス情報	14
テストされたソフトウェア	16

Silk Test 21.0.2 リリース ノート

このファイルには、ヘルプに記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。このファイル全体をお読みください。

インストールおよびライセンスの問題については、『[Silk Test インストール ガイド](#)』を参照してください。

このドキュメントの最新バージョンについては、『[リリース ノート](#)』を参照してください。

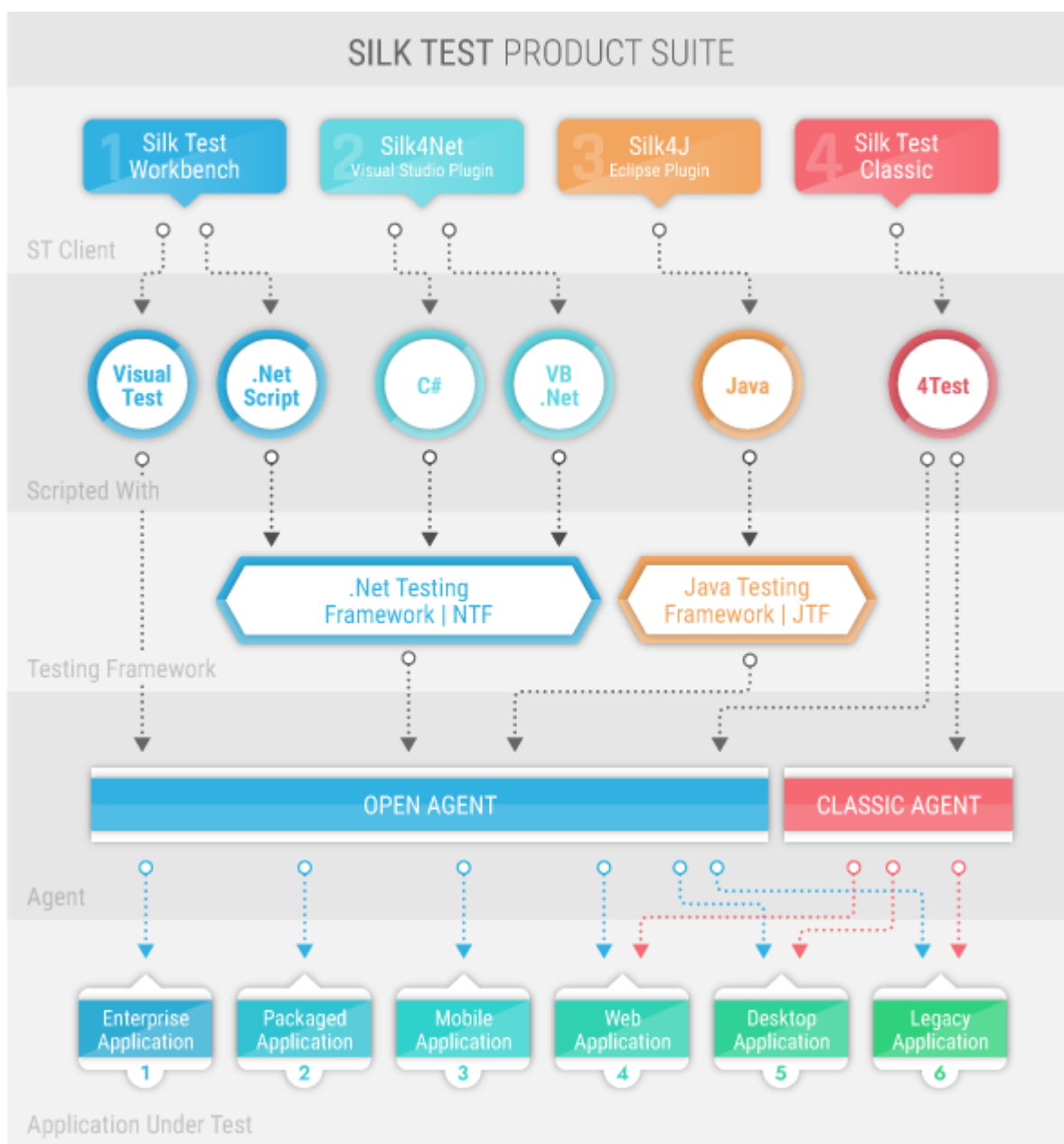
カスタマー ケアからサポートを受けるには、supportline.microfocus.com に移動してください。

Silk Test 製品スイート

Silk Test は、高速で信頼性の高い機能テストと回帰テストを行うための自動テスト ツールです。Silk Test は、高品質のソフトウェアをすばやくリリースするために、開発チーム、品質管理チーム、ビジネス アナリストを支援します。Silk Test を使用すると、アプリケーションが意図したとおりに動作することを確実にするために、複数のプラットフォームとデバイス上でテストを記録/再生することができます。

Silk Test 製品スイートには、以下のコンポーネントが含まれています。

- Silk Test Workbench : Silk Test Workbench は、品質テスト環境です。上級者用の .NET スクリプトと、より幅広い利用者がテストを行えるようにする使いやすいビジュアルテストが提供されます。
- Silk4NET : Silk4NET Visual Studio プラグインを使用すると、Visual Studio で直接 VB.NET または C# のテスト スクリプトを作成できます。
- Silk4J : Silk4J Eclipse プラグインを使用すると、Eclipse 環境で直接 Java ベースのテスト スクリプトを作成できます。
- Silk Test Classic : Silk Test Classic は、4Test を使用したスクリプトを作成できる Silk Test クライアントです。
- Silk Test Agent : Silk Test Agent は、テストのコマンドを GUI 固有のコマンドに変換するソフトウェア プロセスです。つまり、テストするアプリケーションをエージェントが動かし、監視しています。ホストマシン上で 1 つのエージェントをローカルに実行できます。ネットワーク環境では、任意の数のエージェントをリモート マシン上で実行できます。



上の画像の個々のボックスのサイズは、記述上の理由で異なっているだけで、含まれる機能を反映しているわけではありません。

インストールする製品スイートによって、使用できるコンポーネントが決まります。すべてのコンポーネントをインストールするには、完全インストール オプションを選択します。Silk Test Classic を除くすべてのコンポーネントをインストールするには、標準インストール オプションを選択します。

システム要件および前提条件

以下のセクションでは、Silk Test をインストールして実行するためのシステム要件を示します。

ハードウェア要件

Micro Focus では、以下のハードウェア要件をお勧めします。

システム領域	要件
プロセッサ	Intel または AMD の Dual-Core プロセッサ (2 GHz)
RAM	4 GB の空きメモリ
ハードディスク領域	4 GB の空きディスク領域



注: 自作機 (ベアボーンキット、ショップブランド機を含む) は動作保証外です。推奨するハードウェアは、Silk Test の最低限の要件を提示したものです。テスト対象アプリケーションやテスト環境の要件によっては、追加のハードウェアが必要となる場合があります。

iOS デバイス上でテストする場合は、1 GB 以上の RAM を持つデバイスを使用することを Micro Focus では推奨しています。

iOS 上で、Apple Safari の Web アプリケーションやモバイル アプリケーションをテストするには、次のハードウェアの Mac が必要です。

システム領域	要件
オペレーティングシステム	OS X El Capitan 10.11.3 以降
ハードディスク領域	1 GB の空きディスク領域

ソフトウェア要件

Silk Test をインストールして実行するには、次のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- Microsoft .NET Framework 4.8 以降 (フルセットアップ)
- [Windows Update 3118401 \(Windows での汎用の C ランタイム\)](#)
- Silk Test をインストールするマシンのオペレーティングシステムのビット数に応じて、対応する 32 ビットまたは 64 ビットの Silk Test セットアップ パッケージが必要になります。

Silk Test の新機能

Silk Test では、以下の新しい機能がサポートされています。

HTML 形式の結果レポートにおけるイメージ検証

機能テストにおいて検証は重要な指標です。Silk Test では、アプリケーションの表示上の違いを比較して確認できます。アプリケーションの変更点やイメージ検証で失敗した理由を簡単に発見できるように、HTML 形式の結果レポートに、イメージの相違点を表示する機能が Silk Test 21.0 に追加されました。

ブラウザ サポートの自動更新

Chrome、Edge、Firefox、Opera などのブラウザは、定期的かつ頻繁に更新されており、そのたびにすべてのテスト環境で Silk Test を手動で更新するのは非常に手間のかかる作業になっています。Silk Test 21.0 では、新しいバージョンのブラウザをサポートするために必要なすべての WebDriver ファイルが自動的にダウンロードされるようになりました。隔離された環境で作業している場合は、内部のファイルストレージでダウンロードするファイルを管理することもできます。

スタンドアロン Recorder

Recorder や Locator Spy をコマンドラインから開始できるようになりました。これにより、Visual Studio Code などの IDE に記録機能をシームレスに統合できるようになりました。Recorder を使うと、Selenium ベースのスクリプト (Java、C#、VB) または Silk Test ベースのスクリプト (Java、C#) を生成できます。

AutoPass のサポート

Silk Test 21.0 では、Silk Meter ライセンス サーバーに加え、AutoPass ライセンス サーバーもサポートされるようになりました。

ユーザビリティの改善

Status ウィンドウの場所の設定

Silk Test Classic の Status ウィンドウの場所をカスタマイズできるようになりました。場所の設定は 5 つの解像度まで保存され、Silk Test Classic は適切なものを選択します。何も設定されていない場合は、デフォルトが使用されます。

VB.NET デバッグ時のグローバル オブジェクト

Silk Test では、.NET スクリプトのデバッグ時にグローバル オブジェクト (モジュール レベルで宣言されたオブジェクト) が表示されるようになりました。

使用技術の更新

Silk Test は、Microsoft Edge (Chromium ベース) 81 から 106、および Internet Explorer モードでのテストをサポートするようになりました。

Silk Test は、Java 14、15、16、17 をサポートするようになりました。

Silk Test は、SAPGUI クライアント 7.60 をサポートするようになりました。

Silk Test は、iOS 14 および Android 11 をサポートするようになりました。

既知の問題

使用している Silk Test クライアントに応じて、クライアントの既知の問題とその解決策に対応したリンクをクリックしてください。

Silk Test Workbench

[Silk Test Workbench の既知の問題](#)

Silk4J

[Silk4J の既知の問題](#)

Silk4NET

[Silk4NET の既知の問題](#)

Silk Test Classic

[Silk Test Classic の既知の問題](#)

解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

解決された問題と、実装された機能拡張要求を以下に示します。

SI #	RPI #	説明
OCTIM17D7 42001		Chrome と Edge 上でのオブジェクト解決の問題：Recorder が適切な DOM オブジェクトではなく AccessibleObjects としてオブジェクトを解決してしまう
OCTIM17D6 42089		WebDriver ベースのブラウザで再生時の一定の状況下でオブジェクト解決情報が失われる
OCTIM17D6 92059		
OCTIM17D7 12049		WebDriver ベースのブラウザでテキストのキャプチャが正しく機能しない
OCTIM17D7 23091		Chrome のウィンドウを最大化するとネイティブ コントロールが解決されない
OCTIM17D6 71172		Open Agent を開始するときに [Silk Test Workbench] が動作を停止する
OCTIM17D6 90017		[Silk Test Workbench] でテストの実行を中止すると、アクティブ データ ファイルが開かれ、ロックされたままになる
OCTIM17D7 32018		アクティブ データ エディターで作業中に [Silk Test Workbench] が動作を停止する
OCTIM17D7 93066		
OCTIM17D8 38056		入力パラメーターをリテラルではなく変数として保存すると、[Silk Test Workbench] がスタックオーバーフローにより動作を停止する
OCTIM17D7 23060		署名の問題で OS X Configuration Assistant が動作しない
OCTIM17D7 23056		[Silk Test Classic] BMC ライセンス上の問題
		Silk Test Information Service で、WebDriver のバージョンが 100 以降の場合、最新であるにも関わらず「New WebDriver version available」メッセージが表示される
OCTIM17D7 49004		[Silk4J] JTF ライブラリのデフォルト SSL ソケット ファクトリーを変更すると、ユーザー証明書が見つからない
OCTIM17D8 48055		Information Service のインストールにおける「引用符で囲まれていないサービスパス」脆弱性の修正
OCTIM17D7 19053		Rumba 10.x 上でのテストにおける全般的な不安定性問題の修正
OCTIM17D6 72014		Open Agent との接続に失敗する
OCTIM17D7 75042		依存関係の脆弱性 - Spring (最新版への更新)
OCTIM17D7 38067		依存関係の脆弱性 - Log4j 1.x (Reload4J への置換)
OCTIM17D7 34150		

SI #	RPI #	説明
OCTIM17D7 33012		依存関係の脆弱性 - Log4j 2.x (最新版への更新)
OCTIM17D7 34009		
OCTIM17D6 17019		マルチセッションテストに関する重要な infoServiceSecurePort 引数についての情報がドキュメントに記述されていない
OCTIM17D7 25144		Java 16 以降のサポート
OCTIM17D7 33169		
		Microsoft Edge ブラウザーの Internet Explorer モードのサポート
		廃止された Adobe Flex サポートの削除
		Service Virtualization 機能は廃止されました。引き続き使用する必要がある場合は、Micro Focus サポートまで連絡ください。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus カスタマー ケア と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus カスタマー ケア では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus カスタマー ケア が必要とする情報

Micro Focus カスタマー ケア をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus カスタマー ケア はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

Silk Test のライセンス


このセクションでは、Silk Test のライセンスを取得する方法について説明します。

複数のライセンス サーバーがある場合は、それぞれのライセンス サーバーに結び付けられた複数のライセンス ファイルが必要となります。1 つのライセンス サーバーで、複数の製品のライセンスを管理できません。


Silk Test ライセンスを受け取っている場合は、ライセンスをライセンス サーバーにインストールします。ライセンスを受け取っていない場合は、ライセンスを生成します。

ライセンス情報

評価版を使用しているのではない限り、Silk Test はライセンスを必要とします。

 **注:** Silk Test ライセンスは、Silk Test の特定のバージョンに固定されています。たとえば、Silk Test 21.0 には Silk Test 21.0 のライセンスが必要です。

ライセンス モデルは、使用しているクライアントとテストすることができるアプリケーションに基づきます。利用可能なライセンス モードに応じて、次のアプリケーションの種類がサポートされます。

ライセンス モード	アプリケーションの種類
モバイル ネイティブ	<ul style="list-style-type: none">モバイル Web アプリケーション<ul style="list-style-type: none">AndroidiOSネイティブ モバイル アプリケーション<ul style="list-style-type: none">AndroidiOS
フル	<ul style="list-style-type: none">Web アプリケーション (以下を含む)<ul style="list-style-type: none">Apache FlexJava アプレットモバイル Web アプリケーション<ul style="list-style-type: none">AndroidiOSApache FlexJava AWT/Swing (Oracle Forms を含む)Java SWT と Eclipse RCP.NET (Windows Forms および Windows Presentation Foundation (WPF) を含む)RumbaWindows API ベース <p> 注: ライセンスをフル ライセンスにアップグレードする場合は、http://www.microfocus.co.jp に移動します。</p>
プレミアム	フル ライセンスでサポートされるすべてのアプリケーションの種類 + SAP アプリケーション

ライセンス モード	アプリケーションの種類
	 注: ライセンスをプレミアム ライセンスにアップグレードする場合は、 http://www.microfocus.co.jp に移動します。
モバイル ネイティブ アドオン	フル ライセンスとプレミアム ライセンスでサポートされるテクノロジーに加えて、モバイル ネイティブ アドオン ライセンスによって、Android と iOS 上でのネイティブ モバイル アプリケーション テストのサポートを提供します。

テストされたソフトウェア

このセクションでは、Silk Test 21.0 がテストされたソフトウェアを一覧します。

オペレーティング システム


Silk Test 21.0 は、次のオペレーティング システムでテストされました。

- Microsoft Windows 8.1 (Windows ストア アプリ以外)
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows 10
- Microsoft Windows 11
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows Server 2019

Web アプリケーション

Open Agent の場合、Silk Test 21.0 は次のブラウザおよび Web テクノロジーに対してテストされました。

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
Mozilla Firefox**	70-105***
Google Chrome**	79-106
Chrome for Android	
Original Stock Android Browser (AOSP)	
iOS 上の Apple Safari	9、10.1、11、12、13、14
Mac 上の Apple Safari	9、10.1、11、12、13、14
Mac OS (Apple Safari または iOS のテストに使用)	10.12.6、10.13、10.14、10.15
Internet Explorer	10、11
Microsoft Edge レガシ	Windows 10 October 2018 Update (44.17763) Windows 10 May 2019 Update (44.18362)
Microsoft Edge (Chromium ベース)	81-106
Internet Explorer モードの Microsoft Edge	
Opera	71
Android	5.x、6.x、7.x、8.x、9.x、10.x、11.x
iOS	11.x、12.x、13.x、14.x メモ: 14.3 まで
Xcode	Xcode 10.x、Xcode 11.x、Xcode 12.x メモ: 12.3 まで

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
Silverlight	3 (Silverlight Runtime 4)、4 (Silverlight Runtime 4 および Silverlight Runtime 5)  注: Microsoft は、Silverlight 5.0 を 2021 年までサポートすることをコミットしましたが、Silverlight の今後のロードマップに関する具体的な情報は何もなされませんでした。我々はお客様に対する最高のサポートを維持するよう努力しますが、このプラットフォームに対する Microsoft から得られるサポートに限界がある可能性があります。
Java アプレット (Internet Explorer のみ)	Silk Test は、Internet Explorer 上で実行する Web アプリケーションでのアプレットをサポートします。
HTML5	
Oracle Forms	10g および 11g (Internet Explorer 用)

* 延長サポート版 (Extended Support Release)。

** このリストには、Silk Test 21.0 のリリースまでに Silk Test 21.0 でテストされたブラウザのバージョンが含まれます。ブラウザ側で互換性が保たれていれば、Silk Test 21.0 は新しいバージョンを使用してテストできます。

*** Mozilla Firefox の以前のバージョンと異なり、Mozilla Firefox 52 以降のバージョンには、いくつかの制限事項があります。制限事項についての詳細は、Silk Test クライアントのドキュメントを参照してください。

ネイティブ モバイル アプリケーション

Open Agent の場合、Silk Test 21.0 は次のモバイル オペレーティング システムに対してテストされました。

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
Mac OS (Apple Safari または iOS のテストに使用)	10.12.6、10.13、10.14、10.15
Android	5.x、6.x、7.x、8.x、9.x、10.x、11.x
iOS	10.x、12.x、13.x、14.x メモ: 14.3 まで

デスクトップ アプリケーション

Open Agent の場合、Silk Test 21.0 は次のテクノロジーの 1 つで開発されたデスクトップ アプリケーションに対してテストされました。





テクノロジーの種類	テストしたバージョン
Java AWT/Swing (Java Foundation Classes を含む)	Java 8、Java 11、Java 13、Java 14、Java 15、Java 16、Java 17
Java SWT	Java 8、Java 11、Java 13、Java 14、Java 15、Java 16、Java 17 Silk Test 21.0 は Java SWT バージョン 3.2 以降に対してテストされました。 Silk Test では、スタンドアロンおよび Rich Client Platform (RCP) アプリケーションがサポートされます。
JavaFX	Microsoft Windows 8 以降

テクノロジーの種類	テストしたバージョン
SAP*	SAPGUI クライアント 7.10、SAPGUI クライアント 7.20、SAPGUI クライアント 7.30、SAPGUI クライアント 7.40、SAPGUI クライアント 7.50、SAPGUI クライアント 7.60
Rumba	8.1、8.2、8.3、9.0、9.1、9.2、9.3、9.4、9.5
MFC	14.11
Visual COBOL	
Win 32	任意
WinForms	.NET 3.5 SP1、4.0、4.5、4.6、4.7、4.8
WPF	.NET 3.5 SP1、4.0、4.5、4.6、4.7、4.8

* SAP アプリケーションのテスト時の問題を避けるため、Micro Focus では最新のパッチセットをインストールすることを推奨します。

Silk Test Workbench

Silk Test 21.0 は Silk Test Workbench 資産の格納用に次のデータベースに対してテストされました。

- Microsoft SQL Server 2012 SP1
- Microsoft SQL Server 2014
- Microsoft SQL Server 2016
- Microsoft SQL Server 2017
- Microsoft SQL Server 2019
- Oracle 11.1
 -  **注:** Oracle 11 ODBC ドライバは、パッチ レベル 4 (11.2.0.4.0) 以降が必要です。Oracle パッチ 13390677 には正しいドライバが含まれています。パッチは、[ここ](#) からダウンロードできます。
- Oracle 11.2
 -  **注:** Oracle 11 ODBC ドライバは、パッチ レベル 4 (11.2.0.4.0) 以降が必要です。Oracle パッチ 13390677 には正しいドライバが含まれています。パッチは、[ここ](#) からダウンロードできます。
- Oracle 12.1。Silk Test Workbench は、AL32UTF8 文字エンコードの Oracle 12.1 データベースをサポートします。
-  **注:** Oracle ODBC ドライバー バージョン 19 はサポート対象外です。
- Microsoft Access 2000 (シングルユーザー データベースとして)
 -  **注:** Micro Focus は、Microsoft SQL Server を使用することを推奨します。

Silk4J

Eclipse 4.4.2 以降では、32 ビットおよび 64 ビットの両方で Silk4J を統合できます。バージョン 4.9 は Silk Test に付属しています。

Silk4J を使用するには、Silk4J をインストールするシステムに Java 8 以降をインストールする必要があります。

Silk4NET

Silk4NET は Microsoft Visual Studio の次のエディションと統合できます。

バージョン	エディション
Visual Studio 2017	<ul style="list-style-type: none"> • Community • Professional • Enterprise
Visual Studio 2019	<ul style="list-style-type: none"> • Community • Professional • Enterprise

Silk Test Classic

Silk Test Classic のデータ ドリブン ワークフローは、以下に対してテストされました。

- テキスト ファイルおよびカンマ区切り値ファイル (*.txt ファイルおよび *.csv ファイル)
- MS Excel
- MS Access
- MS SQL Server
- Oracle (部分的なサポート)
- SyBase SQL Anywhere

Silk Test Classic は、ODBC を使用して上記のデータベースにアクセスするため、有効な ODBC ドライバを持つこれらのデータベースのバージョンに対してテストされました。

Silk Test Classic の **Select Data Source** ダイアログ ボックスで、Silk DDA Excel または Segue DDA Excel のいずれかのデータ ソースを選択できます。新しいデータ ドリブン テストケースの場合は、Silk DDA Excel データ ソースを選択します。Segue DDA Excel データ ソースは後方互換性のために選択します。これにより、Segue DDA Excel を参照する既存の .g.t ファイルが引き続き機能します。



重要: このドキュメントに記載された情報は、Silk Test の本バージョンのリリース時点のものに限られますが、サポートしているソフトウェアとテクノロジーに対する新しいリリースと ランタイムのバージョンについては、可能な限り対応するよう努めます。サポートするソフトウェアの新しいリリースとバージョン、あるいは記載されていないソフトウェアに関してご質問がある場合には、Micro Focus までお問い合わせください。